

近畿建設リサイクル表彰	奨励賞〔再利用・再生利用部門〕
受賞者	株式会社 モトイ
受賞テーマ	河内川ダム建設事業における貯水池内伐採木3Rの取り組み

**【取組概要】**

河内川ダム建設事業において、ダム湖に湛水するにあたり貯水池内の立木を大量に伐採・処分する必要があった(8,100m<sup>3</sup>)。そこで伐採木の抑制、および再利用する取り組みを行った。

**①伐採木の抑制**

常時満水位とサーチャージ水位の間の冠水頻度の少ない区域の立木を調査し、冠水に強い樹種(90日水浸した場合でも腐らない樹木)を選択して残置し、伐採量を縮減した(約40万m<sup>2</sup>中76,000m<sup>2</sup>の樹木を残置した。発生抑制率19%)。

**②伐採木の事業内利用**

伐採木の一部をチップ化し、ダムの土捨場整備の防草対策として利用した。  
また、周辺整備の一環として整備した公園にチップ化した堆肥を撒き、カブトムシのすみかとし、里山の保全や今後の誘客につなげていく予定である(700m<sup>3</sup>、再利用率9%)。

**③伐採木利用の民間公募**

発生した伐採木を選別し、薪として利用可能な木を民間公募し、処分量の削減を行った(300m<sup>3</sup>、再利用率4%)。

**④枝葉等も含めた全量の有効活用**

上記の活用の他、枝葉等についてはバイオマス発電等への活用を行い、全量の有効活用を行った。(枝葉部分のバイオマス発電利用：4,100m<sup>3</sup>、有効活用率51%)

**【評価ポイント】**

- ・ 群落単位の伐採ではなく、樹木毎の選択伐採による発生抑制(伐採面積約40万m<sup>2</sup>のうち76,000m<sup>2</sup>で樹木を残置)
- ・ 伐採木は、薪(民間公募)やチップ等に活用



常時満水位～サーチャージ水位の残した樹木



薪用木材の保管状況